

# 施策評価シート

評価年度	平成25年度	事業実施年度	平成24年度	施策主管次長名	都市建設部次長 村澤 良文	
施策番号	61	施策名	誰もが安心して出かけられるまち		総合計画掲載頁	124
関係課名	企画政策課、高齢福祉課、土木管理課、都市整備課					

## 1. 施策の概要

施策の目的	対象	・市民 ・幹線道路	対象指標名	単位	H23実績	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
			① 人口	人	58,762	59,141	61,400	62,500	63,700	64,700
			② 都市計画道路延長	km	68.4	66.9	66.9	66.9	66.9	66.9
			③							
意図	誰もが安心して出かけられるまちにする		成果指標名	①	さんさんバスの利用者数					
			②	都市計画道路整備率(整備済延長/計画延長)						
			③	歩道付道路の整備率(整備済延長/計画延長)						
			④							

## 2. 成果指標

指標①	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	さんさんバスの利用者数	人/年	251,589	311,000	241,405	245,000	250,000	252,000	253,000
	指標設定の考え方と把握方法	利用者数の推移により公共交通の利便性を計るため利用者数を指標とした。事業者からの報告により把握							
指標②	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	都市計画道路整備率	%	74.8	75	75.7	77.8	78.6	79	79.6
	指標設定の考え方と把握方法	幹線道路が整備されることにより通勤や輸送など移動が円滑にできるようなることから、その整備率を指標とした。整備率は担当課より把握							
指標③	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
	歩道付道路の整備率	%	84.5	85	86	86	86	87	87
	指標設定の考え方と把握方法	安全の確保には、歩道が果たす役割が大きいため歩道整備率を指標として設定した。担当課より把握							

## 3. 施策の評価

項目		評価のコメント			
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>できる限り公共交通機関を利用し、地球環境にやさしいライフスタイルへ転換する。</li> <li>計画道路の公共的な必要性を理解し用地等の協力をする。市民の身近な生活道路では、市民自ら清掃や草刈などを積極的に行い、道路の破損等を速やかに連絡することに協力する。</li> </ul>			
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に安全で便利に移動する交通手段を提供する役割を担う。</li> <li>歩車道分離による歩道整備や幹線道路の整備を計画的に実施し、生活道路を含め適正な維持管理に努める。</li> </ul>			
達成度評価	近隣との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>他市町のコミュニティバスとは、公共交通機関の事情が異なるため単純比較はできない。</li> <li>本市の幹線道路の整備率は、75.2%で刈谷市(87.7%)豊明市(77.1%)に続いている。</li> <li>市道全体に占める歩道整備率は30.8%で6市町で最も高い整備率である。これは、整備済み路線に自転車歩行者専用道路を含んでいるためである。</li> </ul>			
	過去3年間の実績との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>さんさんバスの利用者については、22年度の24万人台から23年度には過去最高の25万人を記録したが24年度には再び24万人台となった。</li> <li>都市計画道路の整備率は、三好明知下線の一部が完了し、前年度より1.0%向上した。</li> <li>歩道整備率は、八和田山線他2路線の歩道整備を行い、前年度より1.5%向上した。</li> </ul>			
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆24年4月に路線再編を実施するとともに利便性向上のためバスを6台に増車したが、平成24年度のバス利用者は計画値と比較して約70,000人下回った。大幅な路線再編とダイヤ改正を行ったことが原因と考えられるが、フォローアップ調査などにより利用実態を把握し市民が利用しやすいバスとすること。</li> <li>◆都市計画道路整備は、新たに三好明知下線の一部が整備された。また、歩道の整備は、八和田山線他2路線を完了した。</li> </ul>			
今後の取り組みの方向性および次年度の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今年度実施した路線再編と同時に便数を増加したものの利用者は減少した。フォローアップ調査結果によると「便利になった」が約半数を占めており、今後利用実態を検証し利用者減少の分析を行う。</li> <li>◆都市計画道路の整備は補助金・交付金が不透明な状況であるが財源を確保しながら計画的な整備を行う。</li> <li>◆他事業と併せた歩道整備や小・中学校を中心とした通学路における安全施設の設置を図る。</li> </ul> <p>(26年度の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通事業補助事業を活用して本市の公共交通の実情を把握し交通基本計画の見直しを行う。</li> <li>・市道三好明知下線の明知地内の工事完了を目標とし、本路線全線の供用開始を行う。</li> </ul>			
市民意識	重要度	高い	満足度	低い	平成24年度市民アンケート調査による